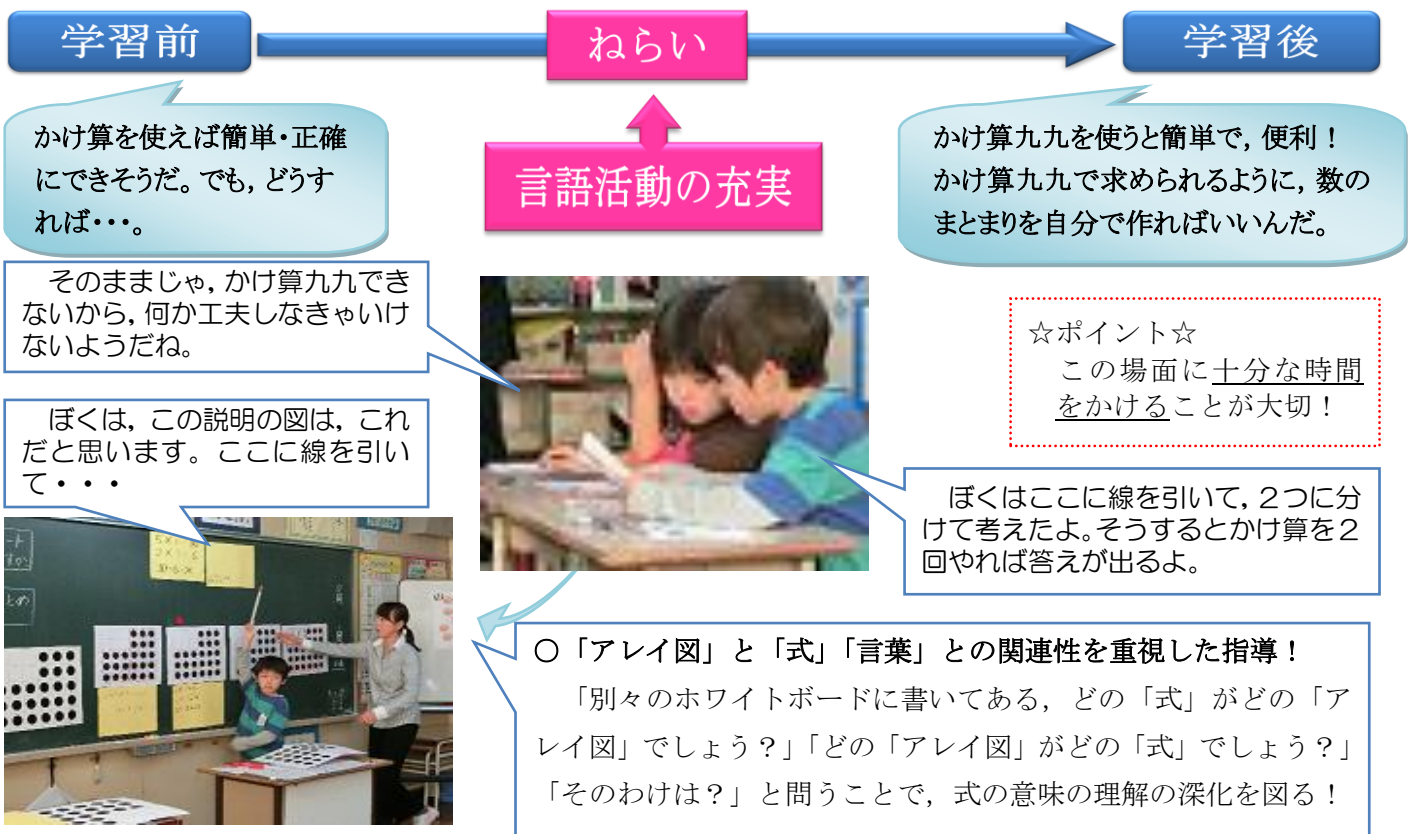


<テーマ>式と言葉をみんなでつなぎ、考えを深める集団解決（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】 2年「九九をつくろう」

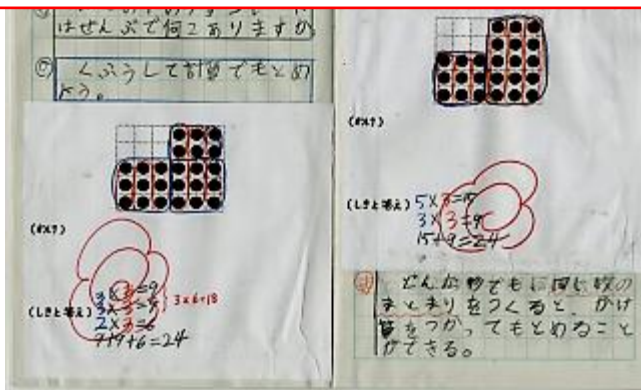
式に表す指導では、文章による表現、○やテープなどの図を用いた表現、具体物を用いた表現などと関連付けながら、式の意味の理解を深めるとともに、記号×を用いた式の簡潔さ・明瞭さを味わうことができるようにすることが求められている。そこで、まず、自力解決の後のペア学習で、同じ考え、違う考え、分からないところを意識させながら自分の考えや友達の考えのよさや違いに気付かせる。この活動を十分に行わせることで、集団解決場面で自分の考えに自信をもち、意欲的に話し合いに臨んでいた。次に、児童が考えた図と式を結びつけ、その意味を推測して説明し合う活動を行わせた。説明と図を敢えてバラバラに提示し、「どの考えとどの図が合うか？」と投げかけることで、児童の思考を促した。互いに、考えを表現し合い、考えの深化と数理的な表現のよさへの気付きを引き出すことができた。

【実践の概要】



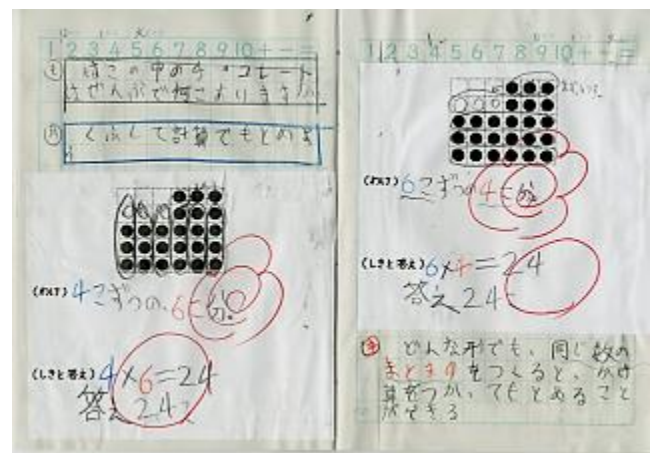
<児童のノート>

多様な考え方で思考を深めていることが伺える



【3つに分ける】

【2つに分ける】



【移動する①】

【移動する②】